

公表日

2026年3月25日

事業所名

こぼんはうさくら 神鳥谷教室

保護者等数(児童数) 19名

回収数 14件(割合73%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1			勉強するスペースと遊ぶスペースがきちんと分かれていて良い。	参観の上でご説明をさせていただきたい。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12			2	しっかり見守ってもらえて、困った時はすぐに助けてもらえるようになっていると思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13			1	仕切りがあり、動と静の区別が目で見てもわかりやすそう。子供にとってもわかりやすい環境。	参観の上でご説明をさせていただきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14				子供も安心して過ごせる環境だと思う。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14				子供の事をよく理解し、対応していただけている。	ミーティング等の中で、引き続き情報の共有を徹底していく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14				ワークシステムや読み書き教室など、子供に合った支援プログラムを実施してもらえています。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				面談で相談した内容を計画に反映していただけていると思う。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14				とてもわかりやすく設定されている。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14				計画に沿って支援して頂けている。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13			1	様々な種類のプログラムを行って頂けている。	引き続き、内容のステップアップをしていけるよう日々の課題設定を行っていく。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	2	5	平日のみの利用で、祝日は利用出来ないため、施設内のみの活動になっている。	プログラムの性質上難しいが、祝日などを活かして機会を作っていきたい。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14				とても分かりやすく説明していただきました。	ご契約時に必ずご説明をさせていただくが、いつでも確認できる環境を整えておく。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14				きちんと説明していただきました。	支援計画見直し時には、モニタリングやアンケートを行い、ニーズの確認やお子様の状態に共通理解を持つよう務めていく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3		3	利用した事はありませんが、こぼん通信などで情報が確認出来ています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14				迎えに行った際や、連絡帳などでこどもの様子をよく知ることが出来ます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14				とても相談しやすい環境だと思います。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				とてもよく支援してくださっていると思います。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	2	7	あまり保護者同士での交流はないと思うので、話せる機会があったら話してみたいです。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13				いつでも相談しやすく、困ったことがあったらすぐ対応していただけていると思います。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				とても話しやすいので、情報を共有しやすいです。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12			1	こぼん通信でいろいろなることを知ることが出来ています。	今後も、こぼん通信での情報発信を継続しながら、SNS等の活用を検討していきたい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14				しっかり管理されていると思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14				こぼん通信で訓練を知ることが出来ました。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			1	定期的に行われ、子供もしっかり覚えているので安心です。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14				安心して利用しています。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			1	事故等がなかったため、分かりません。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13				先生がとてもよく話しを聞いてくださるので、とても安心して過ごせていると思います。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	2			行くまでは嫌がってしまいましたが、教室に入ってしまうと楽しく過ごしていて、次の通所を楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				とても安心できる場所で、心強く、支援に感謝しています。	

公表日

2026年3月25日

事業所名

こぼんはうすさくら 神鳥谷教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		児童福祉法に沿っていると共に、活動をエリアで分け、活動しやすい工夫をしている。	動線の確保の観点から備品や教材の管理を見直したい。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		体調不良や急用などの際にも、職員間で調整し、配置数を守っている。	感染症等の流行時には、更に余裕を持てるよう増員を検討していく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・構造化している ・資格支援カードは一人一人に合わせて提示するなど、個々に合わせている	バリアフリーに関して、保護者へ周知をし、ご確認をお願いしたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・玩具や絵本、使用した机・椅子ロッカー等も朝・夕の清掃と共に徹底している。	引き続き継続していく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			クールダウンスペースを確保している。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・朝のミーティングで前日の振り返りをしてから、必ず目標設定を行っている。	不在の職員に共有の漏れが無いよう、記録を残している。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者からの評価表を元に、ミーティングを行い、改善に努めている。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		定期的な面談により、意見を伝えられている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に事業所内で研修を受けられている。研修以外でもすぐに質問や相談が出来る。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		利用者のアセスメント、支援計画を元にプログラムを作成し、共有されている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		新規・更新共に、ミーティングにて共有し、支援や関わりに共通性を持たせるようにしている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・ミーティングを重ね、話し合いながら進めている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・目的に合わせ、内容をステップアップしていけるよう課題設定している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		特性に合わせてクラスを分け、その中で集団・個別課題の設定をしている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	6			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		必ず面談の機会を設け、ご説明後に同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		常時、発達相談の呼び掛けを事業所新聞や連絡帳にて行い、利用に繋げている。	より多くの方にご利用いただけるよう、周知していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		お忙しい保護者様も多く、交流を望まない方もいらっしゃる為、見送っているが、検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		通信は月に1回提供できている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の書類・ファイルは鍵付きキャビネットにて厳重に保管している。閲覧の際は管理者に確認する等徹底している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・各マニュアルはいつでも見られるようファイリングされている。 ・各種訓練の実施は、連絡帳やこぼん通信にて周知している。	ご契約時や、こぼん通信などで、引き続き周知していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPは定期的にミーティングにて見直し・共有をしている。避難訓練等、連絡帳・こぼん通信にて周知している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		ご利用開始前のアセスメントにて確認後職員全体で共有できている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		保護者様に確認を取り、情報共有し対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		定期的にミーティングにて見直しながら、安全管理に努めている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		こぼん通信にて周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ミーティングにて共有、対策案を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的に研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		会議を重ね、お子様の特性から想定されるやむを得ない状況での対応のシミュレーションを行っている。	保護者様にも事前にはっきりご説明し、了承を得て計画に追記している。